

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

昨日は、中国の人民元切り下げに因る報復措置により米中の貿易摩擦が激化し、世界的に株価下落、金利低下、新興国通貨安の波が押し寄せた。米国の対中追加関税第4段への対抗措置として、中国も米国産の農産品に関税を課すなど緊張感が高まる中、ドル人民元は7.00円/ドルを割る元安水準に切り下げられた(過去10年間で最も弱い水準)。中国人民銀行は「ファンダメンタルズや市場の需給に基づいた適切な水準」と発表したが、トランプ大統領は元の切り下げを「為替操作」と指摘したことに加え、米国財務省が中国を為替操作国に認定したことで、相場は一気にリスクオフの展開へ。ボベスパ指数は一時100,000を下回り、ドルレアルは3.97台までレアル安が進行、ドル円も一時105円半ばまで円高が進行した。

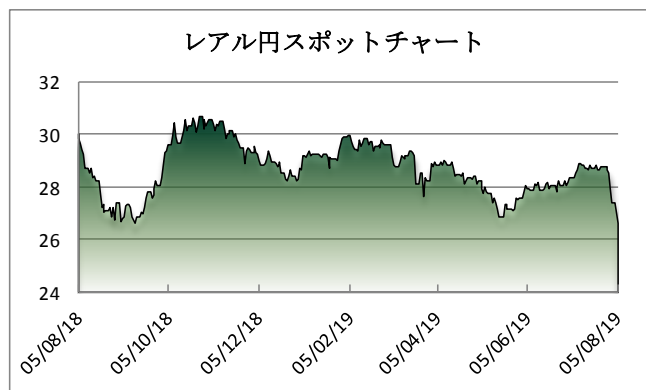
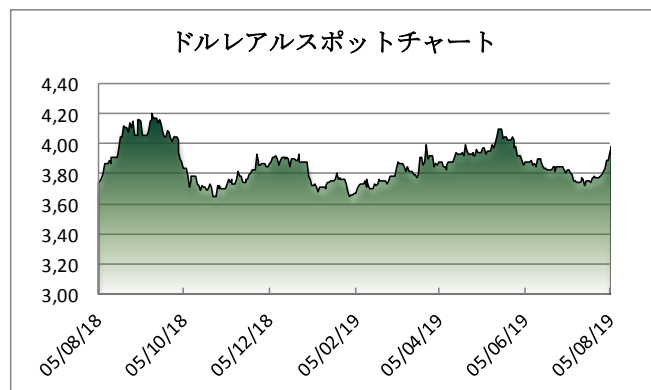
貿易摩擦の急激な高まりが世界経済の成長を阻害し、米国の景気をも後退させる可能性が高まったことで、リスク資産に対する関心は低下し、より安全な金や円の資産に対する需要が増加している。早くもマーケットは9月のFOMCで追加利下げを決定するとの見方が大勢を占めている。

毎週月曜日に発表されるブラジル中銀の経済見通しでは、2019年末のSelicが5.25%(前回5.50%)に引き下げられたこと以外は特段大きな変更は無かったが、マーケットの中心は米中貿易摩擦一色となっており、今回のCOPOMが開催される9月までは、ボラティリティが収まるのを待つしかない状況となっている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月2日	8月5日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,8895	3,9773	2,26%	4,07%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	27,41	26,65	-2,77%	-6,12%	30,08	26,54
	対ユーロ	BRL	4,3192	4,4539	3,12%	3,82%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	106,59	105,95	-0,60%	-2,32%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	118,39	118,70	0,26%	-2,51%	117,68	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	102,674	100,098	-2,51%	-3,83%	106,650	87,536
CDS Brazil 5yrs		bps	131,60	140,13	6,48%	-4,02%	209,52	124,06
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,23	7,37	1,94%	-0,09%	9,34	7,18
DI Future Jan20 (金利先物)		%	5,51	5,57	1,09%	-4,63%	6,69	5,48
3 Months US Dollar Libor		%	2,23925	2,20900	-1,35%	-4,43%	2,8039	2,2393
CRB Index (国際商品指数)		Index	173,35	171,49	-1,07%	-5,14%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。